



とうおん

議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

2025年

第78号

令和7年8月1日発行

シリーズ

輪投げを楽しむ

新村老人会

里芋の生産額が大幅増

野菜・花き等産地供給力強化支援事業

一般質問

の議員が市政を問う!!

第3回議会報告会
(令和7年4月18日)

司 会

記 録

東温市議会
第3回議会報告会





里芋分離機の操作説明会

里芋の生産額が大幅増
野菜花き等産地供給力強化支援事業
 昨年度、JAえひめ中央が、県と市から約1/2（県1/3・市1/6）の補助を受け、里芋の栽培・収穫に必要な機械を購入し、農家にリースする事業を行いました。



補助事業担当
 かいのう 栄一さん 市川 やすひろ 泰弘さん

お役に立てるよう
 精一杯がんばります。

◆導入した機械の種類と活用方法
 JAえひめ中央が農家の要望をとりまとめ、里芋の栽培・収穫作業に必要な様々な機械を購入しています。畝立てマルチ作業機、移植機、収穫機や分離機などです。購入した機械は、申請を行った組合員に対して、半額負担のリース方式で貸与されています。機械の使用権・管理権は組合員にあり、耐用年数（7年）が経過した後は、所有権が組合員に移転されます。



大きく育っている里芋

◆機械導入の効果は
 里芋専用の機械の導入により、作業時間が大幅に短縮され、生産規模の拡大が可能となりました。各農家に機械が行き渡ることで、貸出の待ち時間が解消され、それにより作業の遅れもなくなりました。生産農家数、出荷額ともに年々増加しており、農家にとっても安定した収入が得られることにつながっています。



里芋収穫機



植付作業



畝立てマルチ作業



おおにし 俊則さん（牛渕）

1人で効率的に作業ができるようになりました。

◆里芋生産の課題は
 今後の課題は、大きく二つあります。一つ目の課題は、労働力の確保です。里芋の生産には手間がかかる作業が多く、特に収穫・選別は重労働です。高齢化が進む中、必要な労働力の確保が困難になっています。もう一つの課題は、里芋の収穫時には、専用の機械が必要ですが、補助制度がなければ高額な導入費用が障壁となっていることです。特に小規模農家では導入が進みにくく、規模拡大が困難な状況です。



輪投げを楽しむ
新村老人会
 土曜日の午後は青春時代に戻ります。高齢者の生きがい・やりがい、健康増進を目指して活動しています。



会長 ふじかわ よしろう 藤川 美良さん

青春とは
 心の若さである。

◆活動状況は
 高齢者の生きがい、やりがいづくりと健康増進を目指して活動しています。主な内容は、スポーツ活動や清掃活動などによる地域環境整備、こども会との交流による地区コミュニティ活性化などです。市老人クラブ連合会のモットー「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」を合言葉に65歳以上の81人（4月1日現在）の会員が頑張っています。週1回、輪投げとグラウンドゴルフの練習を行っています。特に輪投げは、交流の場としても人気で、女性を含めた大勢の参加があり、土曜日の午後、和



得点の合計を計算中



ねらいを定めて

気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく盛り上がりつつあります。毎月第1土曜日には飛梅神社を清掃します。こども会との交流は、9月に神社清掃、11月には亥の子作りを行います。



神社の清掃活動



グランドゴルフ大会への参加

◆今後の活動は
 60歳代の新規加入者が少なく、会員の減少が懸念されます。「新村区の60歳以上のみなさま、私たちと一緒に青春を楽しみましょう。」

【新村地区】
 市の最西部に位置し、南吉井小学校まで約3km。松山市との境界が入り組んでいる所が多々ある。国道11号の北東側は大型商業施設とアパートが中心。南西側は旧来からの戸建てが多く、その西は一面の田園風景。6月末の人口は492人（239世帯）



亥の子作り

◆議会への要望は
 市の文化向上のため「生き生き発表会」などのイベント演出が可能な、中央公民館と同等の規模と設備が整った市民会館的施設が必要だと思っています。

浸水対策に2億3千万円

老朽化による大幅改修

市庁舎工事請負費 **5795万円**

老朽化等に伴う市庁舎施設の設備修繕に要する経費



改修予定の高圧受変電設備

問 改修工事の概要は。

答 老朽化等に伴い、市庁舎において以下の工事を実施する。

①空調修繕工事：477万円

全体で6か所の空調機器の故障が見つかり修繕を行う。工期は約5か月。

②高圧受変電設備改修工事：3557万円

耐用年数を超えており、全館停電等の可能性があるため、全面的に改修する。工期は約7か月。

③受水槽更新工事：1760万円

受水槽で水漏れが確認され、更新工事を実施する。工期は約3か月。

注目事業

浸水対策に早期着手

浸水対策工事請負費 **2億3000万円**

北野田地区の浸水対策に要する経費



北野田調整池工事予定地

問 工事の進め方と完成予定時期は。

答 調整池の全ての地権者との用地契約が順調に進捗したことに伴い、早期に着手するための工事請負費を計上している。用地の引き渡し完了したところから着手し、令和8年3月の完成を予定している。

追加提案された補正予算案を否決

議案36 一般会計補正予算（第3号）

6月定例会最終日に、補正予算（1700万円）が追加提案されました。物価高騰の影響を受けた市内の観光事業者等を支援するため、国の物価高騰対応の交付金を活用し、市内観光地などでのデジタルスタンプラリーや、サービスエリア2か所にカプセルトイレを設置し、市内の登録店舗で利用できるクーポン券が当たるくじを販売するなどの「消費喚起事業」の実施に要する経費が計上されていました。

本会議において、本事業の意義や効果、他の事業についての検討の有無等、多くの質疑がありました。

反対 永井 大介

この事業で市外からの誘客に励んでも、市民への還元は見込み難しく、その受益者は市外の方たちになってしまう。それでは市民に対して緊急的・直接的な措置にはならない。

採決の結果、賛成6／反対8で、本議案は否決されました。※賛否一覧は7ページ参照



一般会計補正予算（専決分含む）
5億4504万円
(累計218億1604万円 前年度同期比0.7%減)

物価高騰に伴う事業者支援

エネルギー価格高騰対策中小零細企業応援給付金支援事業 **4543万円**

法人10万円、個人事業主5万円を給付

貨物自動車運送事業者応援給付金支給事業 **615万円**

一般貨物1台2万円、軽貨物1台1万円を給付
※両方の事業給付を受けることはできない。



市内運送業者

問 運送事業者への給付額の根拠と周知は。

答 限られた財源の中で全体のバランスや予算等を考慮し、できるだけ多くの事業所に広く行き渡ることを重視して、本市独自で一定の基準を設定した。市ホームページのほか、市商工会やトラック協会にも協力をいただき周知したい。

協力隊員の起業支援

地域おこし協力隊定住支援事業 **100万円**

起業・定住にかかる必要経費の支援



東温アートヴィレッジフェスティバルいきいき祭

問 起業後の取組の内容は。

答 東温アートヴィレッジフェスティバル事業や学校教育・生涯学習分野、地域づくり活動などに寄与する事業を行う。また、100万円については、国の特別交付税の対象経費として算出できる上限額で設定している。

6月定例会



本会議の動画はこちらから視聴できます。

第3回東温市議会6月定例会が6月13日から7月3日まで21日間の会期で開催されました。今定例会では市長提案の一般会計補正予算等23議案（報告4件、承認5件、補正予算2件、条例改正4件、契約6件、人事案件2件）及び請願1件の合計24議案を審議しました。

APハウスの整備に助成

未来型果樹産地強化支援事業 **1589万円**

生産施設整備や生産基盤強化に対する補助



APハウス

問 対象の品種、取組生産者数及び面積は。

答 品種は、せとかと紅まどなどである。2人の生産者が対象で、1人は志津川地区で面積10アール、APハウス（アングルとパイプを組み合わせたビニールハウス）5棟を設置、もう1人は西岡地区で面積10アール、APハウス6棟を設置する計画である。

西谷小学校区でモデル事業

学校防災教育実践モデル地域研究事業 **40万円**

校区内の防災力を高めるため各種事業を実施



西谷小学校の避難訓練（令和6年度）

問 事業の目的と内容は。

答 学校防災活動と地域防災活動の連携・協働の場を設け、校区内の防災力向上を図る。実践委員会を設置し、各種訓練の実施、地域安全マップ作成及び発表会の開催、松山気象台への防災遠足、愛南町での先進地視察、日本赤十字社による防災学習等を実施する予定である。

罹災証明書の発行の効率化

被害認定調査支援システム構築委託料 **936万円**

被災後の迅速な復旧復興における罹災証明書発行のための被害認定調査システム導入



現在の罹災証明書と現地調査で使用するタブレット

問 今回導入されるシステムの効果は。

答 家屋被害調査計画や体制の構築、タブレット等を用いた現地調査後の被災度判定結果などの自動化により、罹災証明書交付の迅速化・効率化を図ることができる。家屋被害調査計画策定から罹災証明書交付に必要な情報を作成するまでの工数・期間を50%以上削減することが見込まれている。

令和7年6月定例会提出議案

報告

- 報告2 一般会計繰越明許費繰越計算
報告3 特別会計繰越明許費繰越計算
～5 (吉久工業団地特別会計、
水道・下水道事業会計)

専決処分

- 承認1 市税条例の一部改正
承認2 国民健康保険税条例の一部改正
承認3 企業立地促進条例の一部改正
承認4 一般会計補正予算(第1号)
承認5 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正

補正予算

- 議案28 一般会計補正予算(第2号)
4・5ページ参照
議案36 一般会計補正予算(第3号)
5ページ参照

請願

6ページ参照

- 請願2 核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願

条例改正

- 議案29 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
議案30 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
議案31 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
議案32 投票管理者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

契約

- 議案33 東温市立南吉井小学校飲料水兼用耐震性貯水槽設置工事請負契約の締結
議案34 東温市立川上小学校飲料水兼用耐震性貯水槽設置工事請負契約の締結
議案35 クリーンセンター解体撤去工事請負契約の締結
議案37 東温市立南吉井小学校中校舎教室棟長寿命化改修建築主体工事請負契約の締結
議案38 東温市立東谷小学校屋内運動場改築建築主体工事請負契約の締結
議案39 高規格救急自動車購入契約の締結

その他

- 議案40 副市長の選任
議案41 固定資産評価員の選任

請願・討論

〈請願2号〉

核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願

唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約を一日も早く署名・批准すること。それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議に参加すること。

賛成 小島 建三



ロシアの核威嚇など核兵器の危険が高まる中、日本被団協のノーベル賞に象徴されるように世界は核廃絶を求めている。唯一の被爆国日本は一日も早く核禁止条約の署名・批准を。

審査結果

請願審査を付託された総務産業建設委員会では賛成少数で「不採択」、本会議でも賛成少数で「不採択」となった。

反対 大西 良也



政府は、核兵器のない世界の実現に向け、安全保障上の脅威に対処しながら、現実的かつ実践的な取組を着実に進める考えであり、本請願に賛同することは適切ではない。

請願とは

国や地方公共団体に対して、所管の事務について意見や要望を伝えるために行う行為です。地方議会に請願する場合は、議員の紹介を必要とし、文書で提出を行います。提出された請願は、常任委員会などで慎重に審査され、本会議での討論・採決を行います。



オンラインでの研修

5月12日、議会運営委員会において、兵庫県西脇市議会の「課題懇談会」等について、オンライン研修を行いました。
「課題懇談会」は、市民団体や市民グループと各常任委員会が課題やテーマを設定し、自由に意見交換する取組で、重要な意見については執行機関に対して政策提言が行われ、予算に反映された事例もあります。
東温市議会におきましても、今後このような取組を進めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆さまのご理解・協力をお願いします。

西脇市とオンライン研修
議会運営委員会
委員長 安井 浩二

賛否が分かれた議案(他の議案は全員賛成で可決されました。)

議案	浜田 瑠華	高須賀啓治	森田 和幸	渡部 一恵	大西 良也	高須賀広一	小島 建三	大西 正之	永井 大介	渡部 勇次	亀田 尚之	細川 秀明	丹生谷美雄	相原真知子	安井 浩二	議決結果 (賛成：反対)
議案第36号	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	—	○	○	○	×	否 決 (6：8)
請願第2号	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	—	○	○	○	○	不採択 (6：8)

○賛成 ×反対 議長(亀田 尚之)は採決に加わらない。



モニターを使ってプレゼンテーション

5月23日に天草市議会広報広聴委員会のみなさんが、本市議会を行政視察に訪れました。視察事項は、「議会だよりの編集について」でした。
市民が登場するシリーズ記事を掲載していることや、写真を効果的に活用していることなど、編集する上での工夫について、スライドを使って詳しく説明しました。
また、より多くの市民に読んでいただけるよう、SNSを利用して発信することを今後の課題として挙げました。
様々な感想や質問を受け、改めて本市の議会だよりを見直すよい機会となりました。

ようこそ東温市議会へ
議会だより編集委員会
委員長 渡部 勇次



6月17日

- 1 地域防災力のさらなる向上を
- 2 公共工事発注における市内業者への配慮を

おおにし まさゆき
大西 正之 議員



- 1 通学助成のさらなる拡充を
- 2 タクシーチケットについて

もり た かずゆき
森田 和幸 議員



- 1 坊っちゃん劇場に対する評価と今後の支援は
- 2 部局編制と人事行政について

なが い だいすけ
永井 大介 議員



- 1 農業の担い手を確保するための取り組みを
- 2 高齢者等に優しいまちづくりを

たか す か ひろいち
高須賀 広一 議員



- 1 財政調整基金の減少と13億円取崩しの理由は
- 2 不登校・いじめの現状と対応は
- 3 子育てと仕事の両立支える病児保育の充実を

はまだ る か
浜田 瑠華 議員



6月18日



わたなべ かず え
渡部 一恵 議員

- 1 ふるさと納税に東温市のお米を
- 2 東温市のホームページについて



こじま けんぞう
小島 建三 議員

- 1 訪問介護事業の火を消さないで
- 2 高い介護保険料の引き下げを
- 3 国民の権利として利用できる生活保護制度へ



わたなべ ゆうじ
渡部 勇次 議員

- 1 部活動地域移行の進捗状況と方向性は
- 2 保育現場の課題と改善策は



にゅうのや はるお
丹生谷 美雄 議員

- 1 体育館にエアコン整備を
- 2 農業ブランド創出と花木の産地支援を

※QRコードでご視聴ください。

令和6年度 政務活動費収支報告

政務活動費

東温市議会議員には、調査研究等の活動に資する経費の一部として、政務活動費（人あたり月額1万5千円）が交付されます。議員は、収支報告書を作成し、領収書またはこれに準ずる書類を添えて議長に提出しなければなりません。議会基本条例では、「市民に対して議会の活動に関する情報を多様な広報手段を使って積極的に公開し、透明性を高めるとともに説明責任を果たすものとする。」と掲げており、積極的な公開のもと、政務活動費の個人別収支を公開します。この収支報告書は

一般に公開しており、手続きすれば閲覧することもできます。

市長への報告

条例に基づき、令和6年度政務活動費収支報告書に領収書等を添えて、議長から市長に送付しました。



令和6年度政務活動費 収支一覧表

（単位：円）

No	氏 名	交 付 額	支 出 額	残 余 (返還金) ※1	支出科目 ※2			
					研 修 費	広 報 費	資料購入費	事務所費
					研修会等に参加する経費	議員活動や市政を住民に報告する経費	図書や資料等を購入する経費	議員活動に必要な事務所に関する経費
1	浜田 瑠華	60,000	38,652	21,348	15,000		23,652	
2	高須賀啓治	60,000	25,000	35,000	25,000			
3	森田 和幸	60,000	38,900	21,100	25,000		13,900	
4	渡部 一恵	60,000	13,321	46,679			6,145	7,176
5	大西 良也	60,000	5,500	54,500			5,500	
6	高須賀広一	60,000	4,900	55,100		1,820	3,080	
7	小島 建三	60,000	55,654	4,346		900	16,000	38,754
8	大西 正之	180,000	8,200	171,800	8,200			
9	永井 大介	180,000	13,861	166,139	8,200		5,661	
10	渡部 勇次	180,000	345,400	0	2,200			343,200
11	亀田 尚之	180,000	74,153	105,847	33,200		40,953	
12	細川 秀明	180,000	144,252	35,748	11,200		133,052	
13	丹生谷美雄	180,000	115,540	64,460	89,140		26,400	
14	相原真知子	180,000	117,275	62,725	25,200		92,075	
15	安井 浩二	180,000	168,388	11,612	57,200		111,188	
16	野口 竜	120,000	76,250	43,750	66,746		9,504	
17	松末 博年	120,000	81,740	38,260	81,740			
18	渡部 繁夫	120,000	6,466	113,534	6,466			
19	森 真一	120,000	15,290	104,710			15,290	
20	丸山 稔	120,000	86,591	33,409	22,799		63,792	
21	近藤千枝美	120,000	28,451	91,549	22,799		5,652	
22	山内 孝二	120,000	67,320	52,680	67,320			
合 計		2,700,000	1,531,104	1,334,296	567,410	2,720	571,844	389,130

- ※1 新任議員（No.1～7）7名は4か月分、任期満了による退任議員（No.16～22）7名は8か月分の交付となっています。
- ※2 交付額よりも支出額の多い議員は、残余（返還金）を0と表記しています。
- ※3 支出があった科目のみ抜粋しています。
（調査研究費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費、人件費の支出はありませんでした。）

地域防災力のさらなる向上を



おおにし まさゆき 議員



問 ①消防団の団員数と10年間の推移、平均年齢と高齢化の状況は。
②団員減少と高齢化に対し、どのような対応策を講ずるか。
③消防団第4分団から提出されたドローン導入提案の検討状況は。
④消防庁の消防団の力向上モデル事業で、市の負担なくドローン導入が可能だが制度活用への考えは。
⑤どのような機種選

答 ①条約定員638人、実員577人。平均年齢48・4歳で、過去10年条約定員に満たない。
②ドローンの最新防災技術は、情報収集力の強化に有効である。
③消防団でドローンの運用検討が承認され、市としてさらなる消防団の強化を図るため、ドローン運用に向け検討する。
④消防団活動を全額国費で支援され、ドローン導入に有効な事業と認識している。
⑤機種の選定等、先進地の事例を参考に検討していく。(消防長)

公共工事発注における市内業者への配慮を



東温市消防本部のドローン

問 ①東温市中小零細企業振興基本条例第5条の趣旨を鑑み、公共工事発注における市内業者への配慮は。
②入札参加資格の運用における工夫について市の考えは。

答 ①市内事業者の育成、地域経済の振興を図るため、市内業者の受注機会の確保に積極的に取り組む。
②実績要件を厳格にすると、市内業者等が排除される恐れがあるため、案件の内容も考慮し、慎重に検討していく。
③市内事業者の参入機会は重要で、経済性、公平性を担保し、工期等の状況も確認の上、適宜分割・分離発注に取り組む。(統括部長)

通学助成のさらなる拡充を



もり た かずゆき 議員



問 ①市外へ公共交通で高校、大学へ通学している人数は。
②通学定期代補助制度の現状は。また教育支援と定住支援の観点からの拡充の検討は。

答 ①通学する学生は、相当数いるものと推測されるが、具体的な人数は把握していない。
②市内小中学校に通学する児童・生徒には東温市遠距離通学助成金制度を導入している。今後、市内小中学校に通学助成金制度は継続して実施する。高校生、大学生について、現時点で導入する予定はない。定住支援の観点から、家庭の経済的負担の軽減策の1つとして考えられるが、現在、導入する予定はない。(教育委員会事務局長)

タクシーチケットについて



公共交通車両

問 ①他市のタクシー会社と連携するには、どのような契約や制度的調整が必要か。
②他の人に譲渡・代理使用することは認められているか、他の自治体の先進例を参考に制度改正の余地はあるのか。
③地域公共交通計画に、通学支援施策を位置づけることは可能か。

答 ①事業への協力を依頼し、了承を得られれば、加盟事業
①事業への協力を依頼し、了承を得られれば、加盟事業
②伊予鉄バスと協議を行っているが、車両、運行経費、運転手の確保等の問題により実現していない。牛湊団地だけでなく、平野部における高齢者の買い物難民の問題が顕在化していることから、今年度改訂予定の東温市地域公共交通計画の見直しの中で、市全体の状況を把握し、今後の課題として取り組んでいく。(都市整備課長)

坊っちゃん劇場に対する評価と今後の支援は



なが い だいすけ 議員



問 県知事や県内教育関係者や財界人で構成する後援会は、坊っちゃん劇場の取り組みを評価し、支援の継続を表明した。地域の子供たちにとっても、歴史学習や情操教育において非常に効果的と考えるが、本市は坊っちゃん劇場をどう評価するか。

答 関連会社の問題は誠に残念であり、信頼を早急に回復することを期待している。坊っちゃん劇場は、質の高い、すばらしい作品を提供されており、蓄積された実績もある。これまで同様に本市のアート・ヴィレッジ構想の関連事業や小中学生の観劇補助事業などを継続して実施していきたい。(地域活力創出課長)



坊っちゃん劇場「新鶴姫伝説」

問 部長級3名減、課長級1名増・2名減の今回の部局の再編制、また役職配置に対し懸念は。
答 厳しい財政状況を踏まえ、人件費抑制に配慮しながら、行財政改革の一環として、スリムで効率的な組織を基本としつつ、複雑・多様化する行政需要への確に対応して

問 人事による財政緊縮とも見える部局編制だが、若手をはじめとする職員全体の職務や勤労に対する意識への影響は。
答 組織の再編に伴い、昇格を不安視する職員がいることも想定される。今後、早期のキャリア形成に努めることで競争意識を高め、個々のスキルアップにつなげていくものと考えている。(総務課長)

農業の担い手を確保するための取り組みを



たか す か ひろいち 議員



問 ①担い手の確保及び育成に係る具体的な取り組み状況は。
②農福連携の推進体制の整備は。

答 ①「東温市農業経営基盤強化に関する基本的な構想」においても、令和5年度に農業を担う者の確保・育成に関する、「ヘルパー制度の導入」及び「高齢者、非農家等の労働力や閑期の異なる産地間の労働力の活用等」が追加された。平成27



イチゴハウス内の除草作業

問 ①胃がん検診の内視鏡検査の費用助成を。
②伊予鉄バス梅本ループ線の牛湊団地経由の要望状況は。
答 ①内視鏡検査への費用助成は、がん検診の質向上と運用の面から議論を重ね検討していく。(健康推進課長)
②伊予鉄バスと協議を行っているが、車両、運行経費、運転手の確保等の問題により実現していない。牛湊団地だけでなく、平野部における高齢者の買い物難民の問題が顕在化していることから、今年度改訂予定の東温市地域公共交通計画の見直しの中で、市全体の状況を把握し、今後の課題として取り組んでいく。(都市整備課長)

財政調整基金の減少と13億円取崩しの理由は



はまた る か 議員
浜田 瑠華



問 ①令和7年度末の残高見込みが15億8600万円（令和5年度末の半分以上）となるが適正な水準なのか、残高減少に対する市の見解は。
②今後の基金保有の目標は。
③13億円取崩しの理由は。

答 ①基金残高見込額は適正な水準と考えているが、このまま基金が急激に減少した場合、市民サービスへの影響が危惧

され、重要な課題であると認識している。
②標準財政規模の20%にあたる約20億円を目標としたい。
③人件費や扶助費などの義務的経費（5.2%増）、普通建設事業費（16.6%増）の増加など。（企画財政課長）

不登校・いじめの現状と対応は

問 ①令和7年度の不登校児童生徒の人数を目標0人と掲げているが、不登校児童生徒数といじめの認知件数の推移は。
②不登校児童生徒へのオンライン授業実施状況と希望する場合のプロセスは。

答 ①不登校の件数は令和4年度77件、5年度116件、6年度105件で、いじめが要因となっている件数は0件。いじめの認知件数は4年度87件、5年度98件、6年度80件。
②機材環境は市内小中学校に整備しており、まずは学級担任

子育てと仕事の両立を支える病児保育の充実



市内小中学生が使用するタブレット端末

問 ①病児保育を利用したくてもできなかった方々の人数は。
②感染集中期の対応は。
③保育所併設型病児保育施設の設置の検討は。

答 ①利用を断念した人数等は把握していない。今後は件数把握に努めたい。
②受入れ強化のため松山市と連携し、5施設利用できる。
③病児・病後児保育へ必要な人材を配置することは困難である。（保育幼稚園課長）

ふるさと納税に東温市のお米を



わたなべ かず え 議員
渡部 一恵



問 ①ふるさと納税の集客やマーケティングは。
②個人農家から集めた「飯」東温市の米としてラインナップに加えることはできないか。

答 ①地場産品等を活用した返礼品の新規開拓に加え、各ふるさと納税サイトにおける効果的な宣伝や情報掲載、集客などについては専門事業者を活用し、更なる寄附者の獲得に向け

東温市のホームページについて



ふるさと納税にお米を出して寄附者を増やしたい

問 ①情報更新のタイミングとホームページ以外の周知手段の活用は。
②更新時の意見収集

答 ①ホームページの更新は、今回の意見も踏まえ、利用者視点で信頼されるホームページを目指していきたい。（総務課長）

集と今後の改善の方向性は

答 ①ホームページやとうおんアプリへの情報掲載は、担当課が適宜実施している。

SNS発信は、担当課からの依頼を受け、総務課が対応し、可能な限り一両日中の発信に努めている。また、総務課からも各課へ情報提供を促すなど、積極的な活用を進めている。

②市ホームページの改善は、「使いやすい・探しやすい・分かりやすい」を重視し、視覚面や検索性、音声読み上げなど順次対応してきた。万人にとつての正解はないと考え、今後も多様な事例や意見を参考に、順次改善を進めていく。

全面リニューアルの際は、今回の意見も踏まえ、利用者視点で信頼されるホームページを目指していきたい。（総務課長）

訪問介護事業の火を消さないで



こしま けんぞう 議員
小島 建三



問 ①訪問介護の基本報酬引き下げ等で、小規模訪問介護事業所が閉鎖、廃業、倒産などの危機にある。本市の訪問介護事業の見通しと展望は。
②訪問介護の基本報酬引き下げ撤回と介護労働者の処遇改善を国に求めよ。
③赤字の訪問介護事業所に対し、市独自で給付する制度を創設できないか。

答 ①訪問介護サービス

課題である。今後サービスを提供していくうえで、どのような提供体制が可能であるか、研究していく必要があると考えている。

②介護報酬の単価設定は、介護保険制度の安定性・持続可能性を保つための制度設計を踏まえて決定されたと承知している。国の動向を注視し、近隣市町とも調整し、検討すべきものと考えている。

③現時点で市独自の給付制度はないが、今後市内事業所等と協議しながら検討したい。（長寿介護課長）

高い介護保険料の引き下げを

問 ①介護給付費の国の負担割合を10%引き上げ、公費負担を60%に引き上げることを国に求めよ。
②市介護保険特別会計に、法的負担12.5%を超えて、一般財源を投入できないか。

答 ①介護保険制度の安定性・持続可能

国民の権利として利用できる生活保護制度へ



訪問介護の現場（イメージ）

性を保つ必要から、国の動向を注視し、検討すべきものと考えている。

②制度上、困難である。（長寿介護課長）

問 ①「生活保護利用の手引き」、申請書を担当窓口で常備できないか。
②熱中症対策のためにも「夏季加算」の支給を国に求めよ。

答 ①市ホームページに生活保護に関する記事を掲載している。
②「夏季加算」の創設について、全国市長会から国に対して提言が出されており、国の動向を注視したい。（社会福祉課長）

部活動地域移行の進捗状況と方向性は



わたなべ ゆうじ 議員
渡部 勇次



問 ①部活動地域移行の取り組みの現状は。
②今後の部活動地域移行の方向性は。

答 ①これまで、生徒・教師・保護者・文化スポーツ指導者等がしっかりと話し合う場の創出、土日や平日の放課後における外部指導者の募集、発掘等に取り組んできたが、顧問との事務負担の調整や活動時間の制約などの課題があり、学校管理下の部

活動への協力者の確保には至っていない。
②国において、令和13年度までに休日の部活動地域展開を実施するよう示されており、本市においても部活動地域移行検討協議会の意見を踏まえて進めていく。

引き続き、市内で活動しているスポーツ団体や文化団体の協力を得ながら、子どもたちの放課後活動を見守る体制を整えていきたい。（教育長）



バレーボールの試合（重信中／川内中）

保育現場の課題と改善策は

問 ①保育士の給与の引き上げを。
②職場環境の改善に向けた方策を。



みんなで砂遊び（南吉井保育所）

答 ①本市の保育士の初任給は、本市を含む県内の20市町の平均金額を上回っている。
保育士は子どもの命を預かる重要な業務なので、今後も引き続き近隣自治体の状況を注視しながら検討していく。
②保育現場の環境改善は、保育の質の向上を目指す上でも、最重要課題と捉え、各園の園長や主任を中心に、良好な関係づくりに取り組んでいる。
今後とも、「愛媛県保育士・保育所支援センター」と連携を図りつつ、保育士に対して細やかなサポートを行っていききたい。（保育幼稚園課長）

第3回 議会報告会



東温市議会「第3回議会報告会」を、4月18日（金）19時から、中央公民館において、44人の市民の皆様のご参加をいただき、開催しました。第1部では、総務産業建設・文教市民福祉委員長長の3月定例会報告ののち、質疑を行いました。

第2部では、東温市食育アドバイザーの坂田香代子様から「子どもたちの豊かな食歴を育む」と題した講演をしていただきました。その後、参加者が7グループに分かれて、意見交換を行いました。今後、市民の皆様から出された意見や感想を参考に、議会としてできることを協議していきます。

次回の開催に向け、一人でも多くの皆様に参加していただけるよう、内容の充実等について、さらに検討してまいります。

Gグループ



地産地消のためコスト抜きで出荷している人もいる。さくら市場手数料を市が補助すれば事業を持続させることができるのではないか。

Eグループ



子どもたちや教員及び保護者による農業の生産現場の学習も必要ではないか。オーガニック給食への取り組みを考えてはどうか。

Fグループ



農業の現状が心配である。農業を生業として自立できるような環境が必要である。そのための支援をお願いしたい。

第1部3月定例会の報告（質疑応答内容）、第2部市民の意見を聴く会（グループ毎のご意見）の詳細は、市のホームページへ掲載しております。

こちらのQRコードからも見ることができます。



体育館に エアコン整備を



にゅうのやはるお 丹生谷 美雄 議員



問 ①小中学校の各教室のエアコン設置状況は。
②学校の体育館は、全て緊急避難場所に指定されているが、能登半島地震の際には、避難所を体育館等から冷房設備のある教室へ移動したと報告されている。
今年も猛暑が予想されており、学校行事や部活動、更に南海トラフ地震への対策が急務と思うが、体育館への設置計画は。



エアコンの設置

問 農業ブランド創出と花木の産地支援を
市の水田収益力強化ビジョンによると、高収益作物の作付が推奨され、特に花き・花木は気候風土に適合するとして

答 ①児童生徒が日常的に使用する普通教室、特別教室については、100%の設置率となっている。
②令和5年度に選定調査を行い、様々な角度から検討し、収容面積が大きい所を優先して、本年は北吉井・南吉井・川上小学校体育館に設置。計画では、令和14年度を完了予定としている。（危機管理課長）



花木の植栽状況

答 花木の優良産地として評価されているのは承知しており、支援については、県の事業での取り組みを予定しているが、他市町の優良事例も参考に研究したい。ブランド化については、昨年からユーカリを、ふるさと納税の返礼品としており、他の花木についても追加を検討したい。（農林振興課長）

花木は生産者も急増し、若者の参入が顕著で、市場で高い評価を受けているが、ブランド品認定や、近隣市町と同様な支援制度の構築が必要では。

Cグループ



農家の手取りが増えず経営が安定しない。地産地消の課題として、松山市は大量生産、大量購入で安くなるが、東温市では難しい。

Aグループ



給食の地産地消は進めるべきである。農家も切り詰めてやっているのでも市の農家に対する支援や給食費補助も必要だと考える。

Dグループ



老人会で給食を食べ、おいしさを実感した。もっと食べる機会があればいい。おいしい給食になれば生産者も喜ぶと思う。

Bグループ



給食費の無償化には慎重な声があり、親が負担すべきとの意見が出た。農業は高齢化が進み、担い手不足が深刻な課題となっている。



人シリーズ

手の届く贅沢を

日常に…

MOUNTAIN STREAM
マウンテンストリーム

店主 谷川 真由子さん
(志津川)



おいしいな、隣に添える食材が美味しくて、ヘルシーであれば最高…そんなシンプルな思いで、小さな焙煎所を営んでいきます。お客様から暮らしや食、文化について学ぶことがばかりです。

東温市に暮らし始めて10年になります。感じることは、地域の皆様が愉しみながら丁寧に暮らしていることです。心豊かに過ごす地盤があると嬉しいです。食材・医療・自然・温泉など、質の良い暮らしを実現できる要素に溢れている中、自家焙煎コーヒー豆とオーガニック食材の提案をさせて頂いています。皆様の日常に手の届く贅沢としてコーヒータイムがあれば嬉

東温市に暮らし始めて10年になります。感じることは、地域の皆様が愉しみながら丁寧に暮らしていることです。心豊かに過ごす地盤があると嬉しいです。食材・医療・自然・温泉など、質の良い暮らしを実現できる要素に溢れている中、自家焙煎コーヒー豆とオーガニック食材の提案をさせて頂いています。皆様の日常に手の届く贅沢としてコーヒータイムがあれば嬉



SAKURA select 選定品
MOUNTAIN STREAM



9月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5 開会 総務・文教 委員会	6
7	8	9 一般質問	10 一般質問	11	12 質疑 予算委員会	13
14	15 敬老の日	16 調査日 (総務・文教)	17 総務委員会 分科会	18 文教委員会 分科会	19	20
21	22	23 秋分の日	24 予算委員会	25 閉会	26	27

本会議 議場での会議 ※総務委員会は、総務産業建設委員会
文教委員会は、文教市民福祉委員会を略して記載

議会インターネット中継

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。
また、過去の録画中継もご覧になれます。



市議会ページ



議会だよりが
スマホで読めます。



議員の表彰

市議会議員として永年勤続等の功績を称え、表彰されました。

四国市議会議長会表彰
議員年数16年以上
相原 真知子 議員
議員年数12年以上
丹生谷 美雄 議員
議員年数8年以上
亀田 尚之 議員

小学生が傍聴に来ました

6月17日に東谷小学校6年生が傍聴に来ました。本会議開会前、議場見学をしました。



編集後記

今回で3回目の編集に関わり、毎回、試行錯誤を重ねております。議会の動きを少しでも分かりやすくお伝えできていればうれしく思います。4月に開催された第3回議会報告会では、たくさんの方に会場いただき、ありがとうございました。直接ご意見をいただきましたことは、今後の活動の大きな励みになりました。市民の皆さんとともに歩む議会を念頭に置き、活動が続けたいと思います。(高須賀 啓治)

発行責任者 亀田 尚之
議会だより編集委員会
委員長 渡部 勇次
副委員長 丹生谷美雄
委員 安井 浩二
大西 良也
渡部 一恵
森田 和幸
高須賀啓治
浜田 瑠華